

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぴーすの児童デイ ぴころ		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年9月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問員が複数いるので、担当外の学校の情報を共有することができる。	定期的に会議を開いて、情報共有している。	
2	同法人内に、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所があり、利用者が重なっていることがある。学校以外の場での様子を知ることができる。	法人内で、必要な情報は共有できるよう、定期的に会議を開催している。	契約時に個人情報同意書もらうことで、他機関との連携が積極的に、かつスムーズにできるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援を、他事業と兼務でしているため、じっくり検討したり、教材を作ったりする時間は足りない。利用者を増やしていく。	法人として、一定の収入は確保しないとけないため、兼務せざるを得ない。	一つのケースに丁寧に対応することで、少しずつでも支援内容を充実させていく。
2	直接支援の経験年数が少ない職員が多いため、加算が少なくなっている。	直接支援の経験が少ないことで、療育の視点を踏まえた提案がしづらい面がある。	一つのケースについて複数人で検討するなどして、経験の少なさをカバーし、支援の質を向上させていく。
3			